



2008 年 10 月 1 日発行
発行人：森本 泰暢
発行所：〒650-0024 神戸市中央区
海岸通 8 神港ビルヂング 509
TEL：078-393-0050
FAX：078-393-0051
E-Mail：kobekeio@dream.ocn.ne.jp
URL：<http://www.kobekeio.org/>
編集：堀 友子・齋藤 洋邦

～～9 月例会レポート～～

福野 和博 (昭 49 経)

まだ暑さの残る中、9 月例会が 9 月 2 日(火)18 時半より三宮ビル南館 5 階会議室にて開催されました。(出席者 35 名)

佐井会長より、ご挨拶とともに慶應義塾高校野球部の今夏甲子園におけるベスト 8 入りの大活躍、関西合同三田会、当日の真山仁氏の講演についてお話がありました。

また森本幹事長より、合同三田会の参加要請、150 周年記念式典チケットの案内、講師プロフィールの紹介があり、次いで創立 150 周年記念事業室の阿部敦志氏より募金目標額 250 億円の順調な達成状況の報告がありました。

講師の真山仁氏は、昭和 37 年大阪に生まれ、昭和 62 年同志社大学法学部政治学科を卒業後、読売新聞記者を経てフリーライターになられた方で、『ハゲタカ』『バイアウト』等を執筆、それらをもとに放送された NHK 土曜ドラマ「ハゲタカ」は好評を得ました。大学時代はテニスサークルの代表として慶應大・同志社大・日大・甲南大との交流戦を企画されたとのこと。

演題は『ハゲタカ』『ベイジン』執筆ウラ話。『ハゲタカ』はバブル崩壊後の金融システムを題材にした近現代の歴史小説とのことで、「ハゲタカ」には誤解された悪いイメージがメディアによって与えられているが、不良債権の処理において企業の再生という役割を果たしたと指摘。記者という経験から常識を疑いイメージにだまされてはいけないとのご意見もありました。

『ベイジン』についてのお話の中では、中国の価値観の違いを認識した上で付き合いえば案外解りあえるのではないかとおっしゃっていました。

講演のあと多くの愛読者の方が質問をされ、いずれ『真山仁全集』が刊行されるようにとの期待も寄せられました。用意された『ベイジン』上下

各 3 冊は講師のサインをいただき即完売でした。

最後に 9 月 24 日スタートの読書会、10 月 25 日(土)の「KG vs KEIO OB BIG BAND 合戦」の案内のあと、新入会の渡邊留美さんの自己紹介があり、散会となりました。



〔編集部注〕

◎ 10 月 26 日(日)の関西合同三田会の前夜祭とも言えるジャズのイベントが、前日 25 日(土)夙川の大手前大学(福井有副会長が理事長)で開催されます。詳細は下記 HP をご覧ください。
http://www.shukugawatown.jp/img/index/OB_BIG_BAND.pdf

◎ 関西合同三田会の一次登録締切は過ぎていますが、引続き参加申込みおよび当日登録も可能ですので、一人でも多くの塾員の出席をお願いします。
<http://www.osakakeio.org/info/2008mitakai.html>

まだお申し込みされていない方は事務局にお問い合わせください。



「第九回世界華商大会と北京オリンピック」

黄 耀庭(昭29經)

八月八日から二十四日まで、十七日間にわたって北京オリンピックが開催されました。私は、八日午後八時から国家体育場(愛称・鳥の巣)で行なわれた開会式に招待されて出席、次々と眼前に繰り広げられる華麗な式典に感動を覚えて帰ってきました。

とくに印象深かったのは、日本選手団の入場するとき。観客が総立ちになって拍手で迎えました。これには当の選手団もびっくりしたようです。四川大地震のときに救援隊を送ってくれた日本への感謝の気持ちの表れです。これが本当の日中友好だと思いました。

なぜ私が開会式に招待されたかといえますと、昨年の九月十四日から十七日まで神戸(十四、十六日)と大阪(十七日)で開催された「第九回世界華商大会」で組織委員会主席を務めたからです。お陰様で多くの方々からご協力をいただき、大会を成功裡に無事終えることができましたが、その労に対しての中国側からの「ご褒美」だと思っています。

この世界華商大会はシンガポールのリー・クアンユー元首相が提唱。世界中に散在する華僑・華人のネットワークの強化と華僑経済の活性化、さらに開催国の経済的發展に寄与することを目的に一九九一年八月、第一回がシンガポールで開催されました。以降、隔年で香港、バンコク、バンクーバー、メルボ

ロン、南京、クアラルンプール、ソウルと続き、昨年、念願の神戸開催となったのです。

大会前年の二〇〇六年四月二十五日、北京の釣魚台迎賓館で中国内外の記者約百名を集めてプレス発表をやりました。その質疑応答で、これまではすべて首都圏で開かれていたのに、日本ではなぜ神戸でやるのかという質問が出ました。それに対して、こう答えました。

一九九五年の阪神・淡路大震災のときに神戸は、世界中から支援を受けました。もちろん華僑・華商からです。そのお礼の意味と復興した神戸のまちを見て欲しいということ。これは神戸を世界に広く知らしめることにもなります。また神戸には華僑との間に四〇年にもわたる歴史がある。そして神戸は世界の華僑・華人が「国父」として尊敬している孫文(1866~1925)と縁の深い土地だということです。孫文は十八回も神戸を訪れ、地元の政財界が彼を支援しました。初めて訪日したのも、また最後に離日したのも神戸です。垂水区にある「孫文記念館(移情閣)」は孫文を顕彰する国内唯一の博物館ですが、世界中でも神戸を入れて三箇所しかありません。

大会の神戸誘致には行政も熱心で、兵庫県、神戸市、神戸商工会議所、神戸華僑総会

が発起人となって「地元協力会」が発足、大会を盛り上げようと一般の人も参加できるいろいろな行事の主催、協賛、後援をやりました。大会には約三六〇〇人が参加しましたが、そのうち二千数百人が海外からでした。

第九回世界華商大会のテーマは「和」。「和解」の社会をつくろうと、二〇〇五年に神戸開催が決まったときに決めました。

ところが思いもかけず、この「和」が北京オリンピックの開会式にも登場したのです。中国の歴史と発明をテーマにしたアトラクションのなかで、活版印刷の巨大な活字群が登場。そのなかで「和」の文字が表示されました。期せずして世界華商大会、北京オリンピックで「和」ということが全世界に向けて力強くアピールされたのです。

私は今、深まる秋の神戸で「和」に象徴される日中友好、さらに世界平和ということについて、改めて思いを巡らせています。

(なお第九回世界華商大会につきましても、神戸慶應倶楽部の瀬戸雄三顧問のお取り計らいにより、大会スポンサーとしてアサヒビール(株)、アサヒ飲料(株)より多大なご協力をいただきました。ここに誌面を借りまして御礼を申し上げます。)

(続く)

会員だより

上島 康男 (昭33法)

2008年は我が70有余年の人生の中で良き思い出多き年である。母校の県立兵庫高校の100周年、慶應義塾の150周年、大学卒業50周年、社業関連では最大のコーヒーの生産国ブラジルへの日本人移民100周年に当る。

《其の一 福澤諭吉先生の先見性》

まず社業関連で話を展開すると、サンパウロで教鞭をとられていたことのある塾の森常任理事(法学部教授)から、福澤先生は著書の「世界国づくし」の中で逸早くブラジルを紹介され、塾生は大いに啓蒙され果敢にブラジルに活躍の場を求めたと承った。その中でも水野 龍氏はブラジルのコーヒー園がリンカーンの奴隷解放以来、人手不足で悩んでいることを知り、事前にブラジルを訪問し、下調べをした結果日本人のブラジル移民を企画し、1907年にサンパウロ州政府との間で「日本農業移民導入契約」を締結、自らがリーダーとなって1908年4月28日午後5時55分神戸港より第一回移民船「笠戸丸」で781人がブラジルへの移住の船出をした。しかし残念乍らその時の写真は現存せず、後日描かれた絵でしか知る由がない。この時には移民以外の人が10人同乗したので、記録には乗船者数は791人となっている。NHKの「その時歴史は動いた」を見られた方も多いと思うが、当時まだパナマ運河がなかったのかアフリカの喜望峰を廻って50日余の航海の末、6月18日やっとの思いでブラジルのサントス港に着いた。それからの日本人移民が舐めた辛酸は筆絶に尽し難かったが、水野 龍氏はその中に身を投じて開拓に従事された。日本人の勤勉さ、誠実さ、農業技術等は次第に称賛の目をもって迎えられようになり、次第に成功者も出、移民排斥の弾圧や戦争で中断した年もあったが、移民は1972年で中止される迄続き、約25万人が移住した。戦時中の苦難、又終戦時の勝ち組、負け組間での争いでの日系人社会での悲劇には胸を痛める。水野 龍氏は一時帰国し、銀座にサンパウロ州政府からコーヒーの提供を受け、ブラジルコーヒー専門店カフェ・パウリスタを開店。森常任理事によれば銀座でブラジルコーヒーを飲むのが流行し「銀ブラ」の語源になったとか。再度渡伯した水野 龍氏は1951年93才で没したが、「移民の父」と尊敬されブラジルにお墓がある。福澤先生のもとにブラジルの慶應社中からコーヒーが送られてきたからかどうかは定かではないが、先生はコーヒーの愛飲家だった。

サンパウロ州政府は、8月開催される移民100周年記念のシンポジウムを日本の多くの開催希望校の中から慶應義塾大学(医学部・法学部)を指定してきている。あくまで私の推察であるが、福澤先生に啓発された塾出身者のブラジルでの活躍を初め、医学部が永年に亘りアマゾン奥地に疫病の研究等に派遣している慶應義塾医学部国際医学研究会(本年で第31次)のブラジルでの実績と森法学部教授(常任理事)他の教育への貢献等を高く評価したのでは。

《其の二 ブラジル移民100周年記念行事》

現在ブラジルの日系人は6世までいて150万人を超え、その内約30万人の若い日系人が日本で働いている。日系人は厳しい移民生活の中で、子弟だけはと教育に熱心で、最高学府のサンパウロ大学進学者も多く、現在空軍司令官や大学の教授他、政財界等の要職に就いている優秀な人材を多く輩出している。

6月18日のサンパウロでの移民100周年記念式典にはブラジル全土から約3万人が参集、日本からは皇太子殿下、地元の井戸兵庫県知事を始め在神戸ブラジル名誉領事の私の会社の社長上島一泰も参列、日本全国からも約5千人が参加して盛大に催されました。

神戸にも移民が渡伯前に逗留した旧国立移民収容所があり、最近その保存が決定した。又、サンパウロにも到着した人達が一時収容された建物があり、現在記念館になっていて、着慣れない洋服に着換えた時に脱いだ着物や当事の持ち物など資料として展示されている。

記念行事には無関係だが参考までに追記すると以前からブラジルでは砂糖黍からエコ燃料としてエタノールを生産していたが、コスト高(60ドル)に悩まされていた。しかし原油の高騰(120ドル)で息を吹き返し、高収益事業になりつつある。アメリカがコーンを原料としているのと異なり、砂糖の搾り粕から抽出するので食糧問題には全く影響はなく、砂糖の増産にも繋がっている。しかしブラジルでは砂糖黍増産の為にアマゾンの森林地域を開発するので環境破壊となると有識者は懸念されているがそれは誤りで、隣接のセラード地域に約1.7億hの未開発の耕作地がある。酸性土壌なので、土質改良の要があり、今迄は森林を焼き払いその灰でアルカリ土壌に変えていたが、それが許されなくなった現在、日本の農業技術が期待されている所以でもある。エタノールはガソリン

に比べて約 20%出力が低下するので、ガソリン価値比 80%以下になるとブラジルでは殆どエタノールを使用している。

《其の三 慶應創立 150 周年・卒業 50 周年》

次いで卒業 50 周年だが 1958 年卒の我々法D組は卒業以来卒業年に因んで毎年 3 月 3 日にクラス会を開催、今年も東京會館に集った。そして 4 月 3 日招待の入学式に参列、その後開催される懇親会と 5 月 24 日の 33 年卒主催の卒業 50 周年記念同窓会への出席を約した。結果、メンバーは変わったが連絡可のクラスメート 22 名中それぞれ 13 名の参加があり、十数年振りのクラスメートとの再会や他学部の親しかった友人達とも大いに旧交を温めることが出来、気のおけない学友との交流は至福の一時であった。矢張り卒業 50 年と云うことで招待される 11 月 9 日の本年度の慶應連合三田会へは健康が許せば是非出席したいと思っている。さてその前日の塾主催の創立 150 周年記念式典は参列者約 1 万名、その内訳は来賓 3 千名、塾生 3 千名で塾員は約 4 千名とのこと。従って塾員の申込者がきつとオーバーすると思われるので、どうも抽選になりそうである。志半端で倒れ、これらの行事に参加出来なかった亡き多くの畏友に、そしてよく神戸慶應倶楽部にもご出席下さった関西婦人三田会元会長 山口道江様(同期)に心から喪悼の意を表す。

《秋の慶早ゴルフ対抗戦》

廣川 守(昭 57 政)

去る 9 月 3 日、六甲山山頂に位置する神戸ゴルフ倶楽部にて慶早ゴルフ対抗戦が開催されました。当日の朝 6 時頃はかなりのどしゃ降りでやきもきさせられましたが、そのうち雨も上がり、朝一番のティーショットこそ霧の中でしたが、その後は秋の気配の漂う六甲山でのゴルフを満喫致しました。年二回開催される慶早ゴルフ対抗戦を私たち夫婦はとても楽しみにしており、できる限り参加させて頂いております。(実は主人は早稲田卒ですので対抗戦の勝敗が夫婦の力関係に微妙な影響を及ぼします。)

今年も早稲田の樽本様・木下様等々おなじみの方々にお会いし、冗談を言い合っておりますと、慶早大学の同窓会といった感じが致しました。今回ネット上位者 4 名の合計ストロークで競いましたが、2 ストロークの僅差で慶應が勝利致しました。

慶應側のトップは田嶋紀雄様でした。アップダウンが激しく狭いフェアウェーにもかかわらず勝負所でのナイスショット等、大変しぶといゴルフで勉強させて頂きました。

プレー後の懇親会には佐井会長にもご参加頂き、

すきやき鍋を囲み甘いだの辛いだの言いつつ盛り上がり最後は「若き血」の熱唱で締めくくられました。

次回は是非より多くの方のご参加を期待しております。

(当日参加者：田嶋・池田・渡辺・森本・廣川)

『読書会』スタート！

9 月 24 日(水)6 時半から倶楽部ルームにて開催。かねてよりの案内のとおり、まずは「学問のすすめ」の輪読から入った。後半は参加者の書籍紹介「本の薦め」。見どころ読みどころ等の活発な意見交換を行った。

出席者：堀切・阪本・浅沼・藤井・八巻・池田・玉田・六拝・檜館・堀・ビジター2 (計 12 名)

次回は、11 月 18 日(火) 6 時半から。

「学問のすすめ」は二編から輪読継続。

(自由参加・弁当の用意なし)

《異端がひらく未来》

—大阪近代化の幕開けと福澤諭吉—

(共催：慶應義塾大学・朝日新聞)

9 月 20 日(土)大阪リバーサイドキャンパスの隣にある「ABC ホール」で開催された。

講演：宮本又朗「塾と関西の企業家たち」

講演：北 康利「福澤諭吉 国を支えて国を頼らず」
パネルディスカッション「大阪スピリッツここにあり」

関西人ならではのパネリストの発想から展開される大阪のリアリズム。これからの未来、生き方のヒントにもなるシンポジウムであった。(記事：堀)



ピックアップ

《やりました！ランニングお遍路さん！》

8 月号の会員だよりに登場の野田敬二さん(昭 58 経)から届いた写メールです。

おめでとう！



《市居嘉雄さん 本を出版！》

「慶應義塾野球史と東京六大学リーグ戦の球場をたどる」(本年9月刊行)



この本は二部構成になっている。

1部は、BRB(2007年10月号～2008年3月号)に連載の「塾野球史(昭和前半)」を基盤に、2部は六大学リーグ戦を中心に書かれている。

同好会だより

KKJC

《ジャズが取り持つ愉快的仲間》

(KKJCのメンバーになって)

若杉 清輝(昭38商)

8月17日「北野クラブ sola」で、塾の大先輩・鍋島直昶さんの「JAZZ LIFE 60周年記念ライブ」が満席のもと、華やかに開催されました。その日多くのKKJCメンバーとともに参加した私は、家内とステージに最も近い席で鍋島さんのビブラフォンを中心に、最高の演奏と楽しいステージを心ゆくまで堪能しました。

当日は私がKKJCに入会して初参加の集いでしたが、世話役の近藤正さんや、黒田豊夫さん、杉本正昭さんから多くの方々を紹介していただきました。8月23日には、岡本の「BORN FREE」で團 裕子さん、9月11日は三宮「GREAT BLUE」で宮本美代子さん達のライブをKKJCの方々と一緒に楽しんでいます。

昨年私は卒業後44年間に及んだサラリーマン生活から何とか元気にリタイアし、これからはまた新しい生き方をと考えていました。そうした折西宮高原ゴルフ倶楽部三田会でご一緒の杉本さんにご紹介いただき、本年4月神戸慶應倶楽部に入会し、さらに会社の先輩の黒田さんのお勧めによりKKJCのメンバーとなりました。

何処に居ても塾の仲間は老若男女オープンで温かく愉快的付き合いが出来ますが、KKJCはその典型だと思います。

これから大いに楽しみたいと思っていますので、皆さん どうぞよろしくお願ひします。

《KKJC これからの活動予定》

10/4・5 神戸ジャズストリート参加

11/1・2 浜松三田会との交流会を含むジャズ&ゴルフツアー(あと数名の余裕があります。希望者は世話人にお問い合わせください。)

12/13 KKJC ジャズ忘年会(三宮サテンドール) 鍋島直昶・小川理子出演

その他、単発でライブハウスを訪ねて楽しんでいます。ジャズのお好きな方お声かけてください。

近藤 正(昭39商)



PC 同好会

《簡単に古いハードディスクの中身をOSごと、新しいハードディスクに移しました》

市川 義人(昭57経)

今年の夏は暑くて体調もあまりよくなかったにもかかわらず、PC ライフは結構充実していました(必要に迫られたこともあります)。作業内容は4つあって1つ目はノートPCとデスクトップPCのハードディスクの換装、2つ目はデスクトップPCの静音化、3つ目はデスクトップPCのCPUの載せ換え、4つ目はネットオークションで購入したジャンクなノートPCの再生です。

このうち、皆さんに一番お役に立てそうな話題は1つ目のハードディスクの換装と思います。交換したのはノートPCとデスクトップPCの2つのハードディスクです。ノートPCのハードディスクは容量が不足したため早急に交換しなければならなくなりました。デスクトップPCのハードディスクは、機械的なエラーがあるとの警告メッセージ(SmartHDD Proというソフトを使っています)が頻繁に出るようになったのでこれも待たなしです。

ハードディスクの換装ならば今までも何度も話題にしてきたのではないかと思われる向きもありましょう。今回が今までと全く異なるのは、古いハードディスクの中身を新しいディスクに丸ごと移し替えた点です。今までのやり方は、新しいハードディスクを本体に装着した後、メーカー等のリカバリーディスクを使って購入したときの状態に戻し、さらに日常よく使うソフトやら前のデータをいちいち入れなおすという大変面倒なものでした。これらの作業はうまくいっても最低半日はかかります。この面倒な作業が、専用のソフトを使うことで、その間、何も作業しないで2・3時間で自動的にできるのは感激ものです。宣伝するつもりは毛頭ありませんが、今回使用したソフトは「ファイナルハードディスク入れ替え 11 PRO」というソフトです。ダウンロード版の価格は約4000円でした。

<http://www.finaldata.jp/irekae/>。このソフトを使ってハードディスクを移し替える方法のうち一番簡単なのは、USB接続のハードディスクケース(2000円位で売っています)を使う方法です。ケースの中に入れる新しいフォーマット済みのハードディスクも必要です。フォーマット済みのハードディスクは

会員の輪

山上 高弘 (昭 52 経)

私が、神戸慶應倶楽部に入会いたしましたのは平成 15 年 6 月であり、かれこれ 5 年余りの歳月が過ぎ去っております。その間、会長さんは上島さん、和田さん、五代さん、広瀬さん、そして現会長の佐井さんに引き継がれて来ております。私が入会した当時は、会員の年齢も比較的高く、私自身、年齢的にも 1 番若い世代であったと記憶しております。ところが、ここ数年は平成年度卒業の若手会員の入会が多くみられ、私自身もあつという間に中堅どころの年齢層になってしまったなど痛感しております。私は、神戸慶應倶楽部で、現在、幹事の任につき世話役の一端を担っております。同好会としては、パソコン同好会、ジャズ同好会、ゴルフ同好会に所属しております。パソコン同好会は、世話役の市川さんが最近多忙のため現在休会状態ですが、一時期は毎月例会を開催し活発に活動をしておりました。ジャズ同好会では世話人の近藤さんの盛りだくさんの楽しい企画が組まれておりますが、私自身時間が取れず最近では参加できていないのが現状です。ゴルフ同好会におきましては、世話人の渡辺さんの企画で、近江慶應倶楽部、関西婦人三田会とのジョイントコンペに参加しております。慶早ゴルフコンペ（春は広野ゴルフ倶楽部、秋は神戸ゴルフ倶楽部で開催）には、ほぼ毎年参加しております。（しかしながら、どちらかという慶應の足を引っ張っているようですが・・・）。

神戸慶應倶楽部においては、今年 6 月から佐井会長、森本幹事長の新体制になり、森本幹事長の積極的な勧誘で会員の増員が図られております。また、今年には慶應義塾大学設立 150 周年にあたり福澤諭吉先生の逸話を聞く機会が多くあり、会に参加するたびに、先生の先見性、独立自尊の精神には、いまさらながら敬愛の念を抱かざるをえません。私自身も微力ではありますが、少しでもこの精神を引き継いでいけたらと思うこのごろでございます。

まだまだ、若輩者ではありますが、神戸慶應倶楽部の益々の発展のために、また会員の皆様のためにも、精一杯やらせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

普段、会の行事に出席できない方、遠隔地の方も誌面に登場して参加してください。皆さんの投稿をお待ちしています。

堀 友子 tomoko@1968.jukuin.keio.ac.jp

120Gの容量で 12,000 円くらいでしょうか。フォーマットしていないバルク品（120G）は 5,000 円くらいからありますから少し高いです。ハードディスクの種類は U-ATA と Serial-ATA の 2 種類あります。互換性はありません。Serial-ATA のほうが新しい規格で値段も安いです。現在の機種がどちらかよく調べてから購入しないと返品できない場合が多いので処分に困ります。

交換手順は、フォーマット済みの新しいハードディスクを外付けのハードディスクケースに入れて PC に USB 接続します。PC を立ち上げて「ファイナルハードディスク入れ替え 11 PRO」を起動すれば、あとは指示に従うだけで 2・3 時間でハードディスクの中身の移し替えは簡単に終わります。データの転送が終了した後、機械を開けて元のハードディスクを外して新しいハードディスクを付け替える作業が必要ですが、これが案外一番面倒かも知れません。

ファイナルハードディスク入れ替え 11 PRO 以外にも入れ替えソフトはいくつかありますが、IBM (Lenovo) のリカバリー機能をそっくり引き継げることを保証したソフトはこれ以外にありませんでした。他のソフトでもできるのかもしれませんが・・・。

わからないことがあれば遠慮なく ML でご質問ください。わかる範囲でお答えしますので。

イーゼル会

《今月の絵》



玉田 和子 (昭 46 文)

イーゼル会では、来年秋に第 3 回グループ展の開催を予定しています。

新会員も募集中です。第 2・4 木曜に例会をしていますので、一度覗いてみてください。

世話人：前田 剛資 (昭 39 工)

● 10月は例会はありません。

～～関西合同三田会のご案内～～

日時：2008年10月26日（日）10：30より（受付開始10：00）

場所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）3階イベントホール

会費：8,000円

本年度は慶應義塾創立150年記念大会ですので、奮ってご参加ください。

お申込み方法は、倶楽部にお問い合わせください。

～事務局よりお願い～

◆例会等にご出席の会員様はお食事等の準備の都合がありますので、必ず事前に事務局までお申し込みをお願いします。なお、当日のキャンセルにつきましては会費全額を頂きますのでご了承ください。

◆住所・電話番号・メールアドレスの変更がある場合は、必ず事務局にお知らせください。

～～今後の行事予定～～

11月8日（土）	創立150周年記念式典	日吉
11月9日（日）	連合三田会	日吉
11月12日（水）	11月例会	場所未定
11月18日（火）	読書会	倶楽部ルーム
12月6日（土）	家族例会	ポートピアホテル
2009年1月10日（土）	福澤先生誕生記念祝賀会	
1月30日（金）	新年例会	会場未定
2月	例会はありません	
3月18日（水）	例会	東天閣

詳細はその都度お知らせいたしますので、毎月BRBでご確認ください。

編集後記
○一ヶ月間休んでいるうちにすっかり秋の気配です。「○○の秋」新しい会も増えました。社中の絆を深めて更に楽しんでいきたいものですね。（ほ）
○天高く馬肥ゆる秋。秋刀魚の美味しい季節になりました。食べ方は様々かと思いましたが、やはりシンプルに焼いて大根おろしが最高です。メタボ対策にはバナナもよいですが、魚はやっぱりはずせません。（洋）